

(様式第4号)

上田市社会教育委員会議 会議概要

1 審議会名	上田市社会教育委員会議
2 日 時	平成29年1月23日 午前9時30分から午前11時40分まで
3 会 場	上田駅前ビルパレオ 5階第1会議室
4 出 席 者	関代表、聲山代表代理、宮島委員、青木委員、金子委員、竹花委員、早坂委員 【欠席委員】山浦委員、柳町委員、山崎委員
5 市側出席者	小林教育長、小林生涯学習課長、山崎上田市立図書館長、 飯島情報ライブラリー館長、立岩生涯学習係長、吉田生涯学習係主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍 聴 者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成29年 2月 6日

協 議 事 項 等

1 開会・代表あいさつ(関代表)

2 教育長あいさつ(小林教育長)

3 諮問

小林教育長から関代表へ

4 会議事項

(1) 上田市図書館基本構想について(山崎館長、飯島館長からの説明)

- ・資料1のスケジュールはあくまでも案で、6月までに是非とも終わらせるというものではない。
- ・図書館協議会からの内容について、再度事務局で表現等の見直しや、庁内関係課と検討した結果、別紙のとおり事務局として修正したい。

P19取組項目4、「多文化サービスの充実」をさらに広い表現とするため「国際化に対応したサービスの提供」に修正。

P33のウについて、上田図書館で55万冊とあるが、それぞれの図書館の収蔵数の変更など弾力的な対応も可能であることから、上田市全体で80万冊の表現だけとした。

また、イ、ウを一つの項目とし全体で分かりやすい表現とした。

(説明を受け質疑応答)

(委員) 図書館を利用していない人、興味もない人、そういう方たちに利用してもらえるような施策や取り組みも基本構想の中に盛り込む必要があるのではないか。

(図書館) 利用していない方にも利用していただけるようにするのが一番の課題と考えている。
図書館基本構想にも入れて、来て貰うようにしたい。

(委員) 協働という概念が出てくるが、図書館は地域づくりの拠点としての機能も持っているので、市民と市民が協働していく拠点としての機能の充実という点もどこかに盛り込んでいく

必要があると思う。

今までの旧来の図書館だと、個人が必要な資料を取って学んでいくという形であった。東京理科大の図書館は、学生同士が学び合う場が真ん中にあり、資料は学生同士をつなぐ接着剤のような役目。メインはあくまでも学び合いである。

地域住民同士の協働、人と人との繋がる時の拠点としての図書館という考え方、これから10年間の基本構想を考えていくうえで、少し強く打ち出した方が良いのではないか。基本目標に「協働」と具体的に書いてあるので取組項目に「市民同士の共同を推進する」とか「市民同士の自発的学びを支援する」とか、そのような項目があってもよいのかなと思う。

取組項目15に「協働」とあるのは、市民と図書館が協働することだと思う。公民館だけでは果たし得ない地域住民の繋がりをつくれる可能性を、図書館は持っているのではないかと思う。

図書館はこういう使い方ができるんだという新たな開拓、新たなニーズを提供していく必要があるのかもしれないと考える。

互いが個別的な役割を果たして力を合わせるだけでなく、互いが相互に依存しながら、影響を与えながら互いに変わっていく、そんなダイナミックな動きが協働という概念になると思う。

(図書館) ご意見をいただいたということで、お願いしたい。

(委員) 図書館も、来る人を待っているだけではダメだと、一步出て地域の中心にもっと出て行くと、図書館協会の理事長などが言っていた。図書館が地域の中心になっていただきたいと思う。学校と地域もコミュニティスクールで地域を巻き込みながら大きく変わりつつある状況の中で、図書館も地域の中心となって、みんなと一緒に未来を切り開いていく形を作っていってほしい。

(委員) 社会教育委員で図書館と図書室の見学は可能なのか。利用状況とか開架率とか、実際に見たり話を聞くのも一つの手かなと思う。

(図書館) 個々に来てもらうことも、一緒に来ていただき意見交換をしながら回ることも可能です。

(委員) 向こう10年で人口構成変わってくる。私は協働というより統合かなと思う。図書館と公民館など分散していくより統合していくという考え方。

ネットワークとか普及しているので、後、自宅で図書館の本を見れたりということも将来的にはあるのかなとも思う。図書館以外にある機能の統合、新しい図書館の機能をつくっていくことも必要かなと思う。

(図書館) 図書館、公民館、互いの良いところを合わせて、生涯学習施設として複合化していけば、もっと良い施設ができるのかなとも思う。図書館も資料を使って、互いに話し合う場とする。

それがこれからの施設づくりでは当たり前となるようにしていくのが、これからの流れ

かなとも思う。

新しい小諸図書館も、静かな空間は別に設けて、互いに自由に、情報をキーにして人と人とが繋がるといふ部分を出している。図書館のイメージを変えていかなければと思っている。

(委員) 子ども読書推進計画について、将来的には、全市民を対象とした計画、子どもからステップアップした計画に、上田市も変更を検討する価値があるのではないかと考える。

(委員) 内容の修正を検討願いたい。

P 2 ... 「法に基づく必須計画ではありませんが」の部分を「市民の読書活動推進のために、図書館サービスの基本理念や基本目標などを明らかにし」のように、前向きな内容に。

P 2 5 ... 「ICタグ化」の表現が3箇所出てくるので、一番初めに注釈を入れる。

P 3 5 ... 武石公民館の図書室は、もともと旧村の図書館であったもの。他の公民館図書室とは別にして、もっと具体的な役割を書き込んでほしい。

(2) 第49回関東甲信越静研究大会について(関代表から説明)

長野県社会教育連絡協議会第5回理事会報告と合せて

- ・長野県教育長を表敬訪問した(30分程度歓談)
- ・研究大会について。

記念講演は久石譲さんに依頼しているが、連絡がない。

アトラクションの長野西高校合唱班、全国大会に出場した。

協賛金を市町村にも依頼したらどうかと提案したが、会長(諏訪市)が「諏訪市は絶対出してくれない」と強固に反対。この提案は困難。

- ・次回理事会 平成29年6月2日(金)を予定。
- ・平成29年5月18日(木)午後、サントミュージゼで上小社会教育委員連絡協議会総会・研修会を行う。
- ・8月1日(火)上小・佐久社会教育委員連絡協議会研修会(会場:小諸市の予定)長和町が事例発表を行う。
- ・10月26日(木)学社融合フォーラム、佐久市佐久平交流センターで開催予定。当日、講演会(シンポジウム)で早坂先生と上田市の伴さんと、信州型コミュニティースクールの事をお話しいただく予定。

(3) その他 ... 特段無し

5 その他(事務局より)

- ・人権フェスティバルについて(依頼文とチラシの配布)
- ・次回会議予定 平成29年3月24日(金)午後